

日本遺産「炭鉄港」を活用した交流人口拡大プロジェクト

【推進エリア】道央広域連携地域（空知地域・石狩地域・後志地域・胆振地域）

目的 日本遺産認定から、PR資材の整備やガイドの育成、地元への周知活動によるシビックプライドの醸成などを行うことで、知名度向上はもとより、協力事業者の拡大など着実に推進体制を充実させてきました。

これらの資産を活かし、様々な主体と連携しながらプレミアム旅行商品の造成や関連商品・サービスの開発などインバウンドも見据えた稼ぎの仕組みに磨きをかけるとともに、スルーガイドの育成をはじめとした、地域のプレイヤー育成を継続し、交流人口の拡大と雇用の創出を図ります。

これまでの主な取組・成果

■ 炭鉄港めしフェスタの開催 [振興局]

開催日：①令和6年9月14日～15日

②令和6年9月26日～29日

場 所：①岩見沢駅東市民広場公園

②札幌大通公園

概 要：①「いわみざわ情熱フェスティバル」及び②「さっぽろオータムフェスト」において炭鉄港めしブースを開設。



■ 炭鉄港プレミアムガイドツアーの実施 [炭鉄港推進協議会]

開催日：令和6年10月11日～11月16日

場 所：芦別市、赤平市、江別市、

美唄市、三笠市

概 要：普段立ち入ることが出来ない施設などを特別に周遊する満足度の高いバスツアーを実施（約70名参加）。



■ 炭鉄港アートプロジェクト2024の開催 [振興局]

開催日：令和6年9月29日～10月14日

場 所：JR岩見沢駅 自由通路

概 要：認定5周年企画として、炭鉄港をテーマにしたアートプロジェクトを初開催。国際的に活躍するサウンドアーティスト大黒淳一氏が、炭鉄港をつないだ鉄道に焦点をあてた音のアート作品を制作・展示（約34,200名来場）。



■ 炭鉄港ガイド付きミニツアーの実施 [炭鉄港推進協議会]

開催日：令和6年4月27日、5月26日、7月21日、9月7日、9月15日

場 所：小樽駅、室蘭駅、江別駅、追分駅、岩見沢駅

概 要：炭鉄港の認知度向上を図ることを目的に、JRヘルシーウォーキングイベントウォークに合わせ、炭鉄港構成文化財や関連施設を巡るガイド付きミニツアーを実施。



評価指標（KPI）

炭鉄港推進協議会構成市町への観光入込客数

基準値(基準年)

16,427千人(R5)

実績値(実績年)

17,241千人(R6)

目標値(目標年)

16,920千人(R11)

進捗率

101.9%

R7年度の主な取組

■ ガイド等団体合同説明会及びインタープリター※養成事業の実施 [炭鉄港推進協議会]

■ 学生向け炭鉄港インターンシップの実施 [炭鉄港推進協議会]

■ 道外の鉄道ファン等新たな層に向けた誘客イベント等の実施 [炭鉄港推進協議会・振興局]

※インタープリター…「インタープリテーション」を実施する人。炭鉄港に当てはめると、例えば、構成文化財の完成年月や仕組みの説明に留まらず、歴史や文化など地域のストーリーを総合的に関連付けて解説できるような人を指す。

アイヌ文化等の地域資源を活かした日胆地域活性化プロジェクト

【推進エリア】道央広域連携地域（胆振地域・日高地域）

目的

アイヌ文化を核とした胆振・日高地域の魅力ある地域資源を一体的に発信し、相互に観光誘客を図る広域観光の促進により、関係人口の創出・拡大を図る。

これまでの主な取組・成果

■ウポポイ及びアイヌ文化施設への周遊キャンペーンの実施 [振興局・市町・観光協会等]



北海道胆振総合振興局



▲ 期 間：令和6年7月1日～9月30日

場 所：胆振総合振興局管内

概 要：胆振総合振興局において、ウポポイ4周年を記念しフォトラリーイベントを開催。胆振管内のアイヌ関連施設（ウポポイ含む）にて、施設の写真やイベント体験の写真を撮影し応募すると、抽選で景品が当たる。参加者には、ぬいぐるみやトートバッグ、クリアファイルなど、アイヌ関連のグッズがプレゼントされた。

■イベントでのアイヌ文様を描くエコバッグづくり等、アイヌ文化体験を実施 [振興局]



◀ 期 間：令和6年9月22日

場 所：室蘭工業大学内

概 要：第64回室蘭工業大学大学祭において、「みっとでアイヌ文化体験♪」に出展。エコバッグにアイヌ文様を描くワークショップを実施した。学生スタッフ・先生と共に実施したワークショップには80名ほどの参加があった。

■「ひだか産品」の消費拡大を図るため、札幌圏のホテルでグルメフェアを開催 [振興局]



◀ 期 間：令和6年11月1日～11月30日

場 所：ホテルライフオート札幌

概 要：日高振興局は、日高産品の知名度向上・消費拡大を目指し、ホテルライフオート札幌と連携して「日高味覚フェア」を開催。ひだか産品を使った特別メニューが提供された。

評価指標（KPI）

胆振・日高地域への観光入込客数

基準値（基準年）

1,806万人（R5）

実績値（実績年）

1,882万人（R6）

目標値（目標年）

2,041万人（R11）

進捗率

92.2%

R7年度の主な取組

- ウポポイを含むいぶり五大遺産関連施設を周遊するスタンプラリーを実施 [振興局]
- アジア上質インバウンド誘客促進のための現地旅行博（シンガポール）への出店及び現地旅行会社・メディア等への売込 [振興局]
- 日高アイヌ文化シンボルマークの作成や、道内イベント等での日高アイヌ文化の魅力発信PR [振興局]

ジオパークの連携による関係人口等の創出・拡大プロジェクト

【推進エリア】道央広域連携地域（胆振地域・空知地域・日高地域）

目的

ジオパークの魅力を活かした各地域における特色ある取組や、地域間及び北東北3県等との連携を通じて、更なる観光誘客や関係人口等を創出・拡大する。

これまでの主な取組・成果

■アウトドアパンフレットの作成 [振興局]



◀ 概要：胆振地域のアウトドアアクティビティーの更なる活用を図るため、胆振管内のキャンプ場と特産品や周辺観光スポットを掲載したパンフレットを作成した。

■北海道いぶり五大遺産ポータルサイトを活用した情報発信 [振興局]



◀ 概要：胆振総合振興局では、「洞爺湖有珠山ジオパーク」「アイヌ文化」「縄文遺跡群」「むかわ竜」「炭鉄港」の5つを【いぶり五大遺産】として、その価値や魅力を発信するポータルサイトを運営し、五大遺産を切り口とした地域資源の情報発信を実施。

■国立公園化記念シンポジウムの開催 [振興局]



◀ 期間：令和6年10月12日
場所：浦河町総合文化会館ミニシアター
概要：日高山脈襟裳十勝国立公園の指定を記念し、シンポジウムを開催。浦河高校生徒によるオープニングトークに始まり、北海道運輸局からの基調講演や、「日高山脈襟裳十勝国立公園の比類なき価値を守るために」の題材でパネルディスカッションが実施された。

■ジオパークにおける道路情報板を活用した案内表示[国]

■ジオパークガイド養成講座の実施[振興局]

■北海道ジオパークネットワーク連絡会議への参加[振興局]

評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
ジオパーク構成市町への観光入込客数	1,866万人 (R5)	1,949万人 (R6)	2,200万人 (R11)	88.6%

R7年度の主な取組

- 五大遺産紹介動画の作成 [振興局]
- NEXCOとの連携による「北海道ハイウェイ Show Area 2025 噴火湾パノラマパーク」の実施 [振興局]
- 第15回日本ジオパーク全国大会十勝岳大会の開催 [振興局、市町]

縄文遺跡群などを活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト

【推進エリア】道南連携地域（渡島地域、檜山地域）【連携地域を越えて取組を推進するエリア】石狩地域、胆振地域

目的

先人から受け継いだ貴重な財産への理解を深め、郷土の誇りと愛着を再認識することで、次世代へ継承していくとともに、この魅力ある地域資源を活用し、観光など地域産業の活性化に繋げていく。

これまでの主な取組・成果

●縄文文化の魅力発信と次世代への継承の推進

■縄文文化に関する普及活動の実施〔千歳市、恵庭市〕

・千歳・恵庭の遺跡を歩こう～キウスVSカリンバ編

日時：令和6年5月26日
場所：縄文文化の普及を図るため、ウォーキングをしながらキウス川周辺の遺跡群及び恵庭市旧カリンバ川流域の遺跡群について、市の専門職員がクイズ等を交えながら解説を実施。
30名が参加。



●縄文遺跡群をはじめとする地域資源を活用した誘客促進

■イベントを通じた誘客促進

〔津軽海峡フェリー、函館市教育委員会、振興局 他〕

・「DOKI! DOKI! JOMON EXPO」の開催

開催日：令和6年11月10日

場所：津軽海峡フェリー
函館フェリーターミナル

概要：カッターをはじめとする縄文のキャラクターを演じた声優によるトークショーを通して縄文について学ぶことができるイベントを開催。



■縄文文化の魅力や価値の理解促進〔振興局〕

・スタンプラリーの実施

日時：令和6年7月1日～11月30日
概要：縄文文化の魅力や価値の理解促進を図るため、縄文関連展示施設4カ所を巡り先着でオリジナルステッカーの配付や、抽選で縄文関連グッズ等が当たる「いぶり縄文スタンプラリー」を実施。



■縄文世界遺産登録3周年記念イベントの開催

〔関係市町教育委員会、振興局 他〕

・「おしまの縄文に触れる日」の実施

概要：「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録から3周年を迎える令和6年7月27日を「おしまの縄文に触れる日」として、函館市縄文文化交流センターの入館料無料、鷲ノ木遺跡見学会、1日乗車券「縄文カンパス」の発売等を実施。



評価指標（KPI）

縄文文化の魅力情報発信に向けた取組を行った市町数

基準値(基準年)

2市町(R5)

実績値(実績年)

2市町(R6)

目標値(目標年)

11市町(R11)

進捗率

18.2%

R7年度の主な取組

■公共施設等でのパネル展等の実施、縄文文化の普及啓発のためのイベントの開催〔振興局等〕

■管内の遺跡や遺物等を紹介するカードの作成、イベント会場に縄文文化体験ブースの出展〔振興局〕

一次産業の未来を広げる産業振興プロジェクト

【推進エリア】空知地域

目的 空知農業が食料安全保障の強化に最大限貢献しながら持続的に発展していけるようICT等の先端技術やカーボンクレジットなど環境に配慮した取組を積極的に取り入れつつ、農業生産基盤の整備など「土づくり」を進めるとともに地域を牽引するリーダーの育成など「人づくり」を進めるほか、空知産農産物のブランド化を推進していきます。

併せて、地域特性を活かした企業・研究機関等の誘致促進し、さらなる産業の振興に取り組みます。

これまでの主な取組・成果

■「空知農業を考える会」キックオフミーティングの開催 [振興局]

開催日：令和6年10月21日

場 所：空知総合振興局

概 要：生産資材価格の高騰や地球温暖化など新たな課題への対応が求められていることから、空知農業の持続的発展に向け、「土づくり」「人づくり」に焦点を当てた取組を展開する「空知農業を考える会」を立ち上げ、関係機関を集めたキックオフミーティングを開催。



■ 北海道空知ワインと食のフェアの開催 [振興局]

開催日：①令和6年7月31日～8月6日

②令和6年11月6日～12日

場 所：北海道どさんこプラザ

(①有楽町店 ②札幌店)

概 要：空知管内の特産品のPR及び販路拡大のため、店舗特設コーナーでの販売や、管内事業者と連携し空知ワインなどの対面販売等を実施。



■北海道そらちビジネスガイドブックの作成 [振興局]

概 要：道内外の企業による空知管内への投資（工場立地など）や管内企業との取引を検討する際の参考資料として、企業情報をまとめたガイドブック（30社掲載）を作成。



■ 空知ワインアカデミーの開催 [振興局]

開催日：①令和6年8月20日

②令和7年1月23日 ③3月13日

場 所：①芦別市 ②岩見沢市 ③オンライン

概 要：ぶどう栽培やワイン醸造技術向上を図るとともに、生産者、研究機関等のコミュニティを構築する勉強会を開催。



評価指標 (KPI)

空知の耕作面積の維持

基準値(基準年)

113,500ha (R5)

実績値(実績年)

113,500ha (R6)

目標値(目標年)

113,500ha (R11)

進捗率

100.0%

R7年度の主な取組

■ 空知農業の持続的な発展に向けた「土づくり」「人づくり」[振興局]

■ 「食のガイドブック」の作成[振興局]

■ 空知GXプロジェクト視察会の開催[振興局]

「空知」の魅力発信・誘客促進プロジェクト

【推進エリア】空知地域

目的 空知地域は、日本遺産「炭鉄港」をはじめ、ワインや日本酒、花など空知ならではの地域資源を有しており、また近年は、国内外のアドベンチャートラベルへの機運の高まりを追い風に、豊かな自然への関心も高まっています。

こうした状況を踏まえ、引き続き、積極的な「空知」の魅力発信やPR 活動を実施するとともに、食の魅力を活かした観光の振興を図り、空知ブランドの強化や国内外との人と物の流れの創出を推進します。

これまでの主な取組・成果

- ウェブサイト「そらち・デ・ビュー」及びSNSを活用した情報発信〔振興局・市町〕

概要：「そらち・デ・ビュー」やSNSにより、空知の様々な情報や魅力を発信し、新たな空知ファンの獲得に向けたSNS上のキャンペーンを展開。
ウェブサイトのPV数：約40万回（R6年度）



- 空知管内自治体PR動画の制作〔振興局・市町〕

概要：空知の知名度向上及び道内外に向けた管内自治体の魅力発信を目的として、そらち応援大使・鈴井貴之氏が出演するPR動画（24市町分）を制作し、協議会SNSで公開。

再生数（令和7年3月末時点）：Instagram 524,812回、Facebook 128,447回、X 2,687,000回



- 地域PRブースへの出展〔振興局・市町〕

開催日：令和6年7月16日～17日

場所：エスコンフィールドHOKKAIDO
1F FIELD LEVEL 地域PRブース

概要：空知地域おこし協力隊ネットワーク（そらちねっと）と連携した空知の「食」のPRを行ったほか、協議会SNSの新規フォロワー獲得に向けた抽選会を実施。



- 『「そらち食の応援アンバサダー」佐藤麻美と行く！冬のそらちバスツアー』の開催〔振興局・市町〕

開催日：令和7年1月26日

場所：浦臼町、新十津川町、歌志内市、上砂川町、砂川市、滝川市

概要：北海道中央バス(株)との連携により、そらち食の応援アンバサダーを務める佐藤麻美氏とともに冬季における中空知地域の魅力を体感するバスツアーを実施。



評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
「そらち・デ・ビュー」公式SNSのフォロワー数	20,120人（R5）	28,672人（R6）	29,720人（R11）	96.5%
管内への観光入込客数	1,274万人（R5）	1,340万人（R6）	1,350万人（R11）	99.3%
移住相談件数	781件（R5）	704件（R6）	919件（R11）	76.6%

R7年度の主な取組

- 「食」や「お酒」など空知の地域資源を活用したPRイベントの実施〔振興局・市町〕
- FAMトリップの開催〔振興局・市町〕
- 体験住宅の整備・お試し暮らしの実施〔市町〕

「空知」に関わりを持つ人材創出プロジェクト

【推進エリア】空知地域

目的

道内の中でも、特に厳しい人口減少が深刻化する空知地域において、将来にわたって住み続けられるよう、オール空知の連携を深めながら、地域医療や福祉の充実、生活交通の維持・確保をはじめとした安心で住み良い暮らしの形成や新規高卒者の地元就職などの雇用対策を進めます。

また、管内自治体・民間企業と連携し、地域住民のシビックプライド醸成や次世代リーダーの育成にも取り組みます。

これまでの主な取組・成果

■ 地元就職応援フェアの開催 [振興局]

○地元企業合同説明会

開催日：①令和6年6月18日 ②6月28日

場 所：①岩見沢市 ②砂川市

概 要：管内就職者の増加と職場定着に向け、選考前の高校生や就職指導教員等を対象に、企業説明会を実施。

企業数：①48社 ②45社

参加者：①生徒106名、教員8名 ②生徒63名、教員8名



■ 空知管内林業就職説明会の開催 [振興局]

開催日：令和6年7月8日

場 所：岩見沢農業高等学校

概 要：岩見沢農業高等学校3年生を対象に林業事業体のマッチングの場として説明会を開催し、新規就業者確保を促進。

参加者：生徒21名



○空知地域企業見学バスツアー

開催日：令和6年10月1日、10日、21日

訪問企業数：10社

概 要：新規高卒就職者の早期離職の要因である仕事のミスマッチを未然に防ぐため、高校生、保護者や進路指導担当教諭を対象に地元企業見学会を開催。

参加高校：岩見沢西、滝川工業、深川西、深川東、栗山、月形 計6校

参加者：生徒 計109名



■ バス運転体験・就職相談会inそらちの開催 [振興局]

開催日：令和6年11月17日

場 所：砂川自動車学校

概 要：地域交通の確保にあたって、運転手不足が大きな課題となっていることから、新たな人材確保を目的に転職や就職希望者を対象としたバス運転体験・就職相談会を開催。

事業者：空知中央バス、夕張鉄道、美唄自動車学校

参加者：20名（定員）



評価指標 (KPI)

評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
新規高卒者管内企業就職率	52.0% (R5)	53.0% (R6)	63.9% (R11)	82.9%
保育所等入所待機児童数	3人 (R6)	3人 (R6)	0人 (R11)	0.0%

R7年度の主な取組

- 新規高卒者の地元就職促進のため、合同企業説明会などの実施 [振興局、市町]
- 高校生を対象とした林業就職説明会の開催 [振興局]
- 地域交通の確保を図るため、講演会やバス運転体験・就職相談会を開催 [振興局]

若者の地元定着促進と道外からの人の呼び込みプロジェクト

【推進エリア】石狩地域

目的

若者の道外への人口流出を抑制するため、教育機関や市町村、地元企業等との連携により、新規学卒者等の地元就職・地元定着の促進を図るとともに、新たな就農環境づくりや企業誘致などによる雇用の場の創出、デジタル関連など新しい地域産業を支える人材の確保などに取り組む。首都圏などの道外から人を呼び込むため、石狩地域で生活する魅力の発信や、関係人口の創出や拡大、移住・定住の促進に取り組む。

これまでの主な取組・成果

●若者の地元定着に向けた取組や道外からのU・I・Jターンの促進

■首都圏大学生と管内大学生の共同による石狩管内での地域活動を実施（振興局）

- ▶概要：地域おこし協力隊などの地域関係者と交流を深める中で、首都圏の若者と石狩地域との関わりを深めることを目的とした管内現地調査を実施。
- ▶連携大学等：文教大学（埼玉県）



■移住検討者向け市内案内の実施（江別市）

- ▶概要：利用者8件（道外4件、札幌市2件、札幌市以外の道内2件）。移住を検討する方の要望に沿ってルートを設定し、公用車でご案内を実施。市内見どころスポットや子育て支援施設、商業施設等の生活に必要な施設を案内。
- ▶<https://ebetsu-sumikae.info/archives/7401>
（HPえべつで暮らす「オーダーメイド市内案内を実施しました」）

●地域産業の活性化や企業誘致等による雇用の場の創出

■短期農業体験ツアーを開催（振興局）

- ▶概要：新規就農希望者を対象に、農業体験の機会を提供し、具体的な就農イメージを抱くことができるよう農業体験ツアーを実施。
- ▶開催地：石狩市、北広島市・道央農業振興公社、当別町
- ▶開催回数：1回（石狩市）2回（北広島市）1回（当別町）
- ▶参加者数：11組16名



■「リスク分散」をはじめ、地域特性を活かした誘致活動を推進（千歳市）

- ▶概要：新千歳空港をはじめとした抜群の交通アクセス、名水百選に選ばれたナイベツ川湧水が主水源となっている良質で安価な水、自然災害の少なさや安定した地盤によるリスク分散の適地であることを首都圏等で開催される産業展示会や各種セミナーでPRし、積極的な誘致活動を実施。

評価指標（KPI）

評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
石狩地域における若い世代（15～39歳）の道外への転出超過数	2,827人（R5）	3,237人（R6）	2,827人（R11）	87.3%
道央地域における「できれば今と同じ市町村に住み続けたい」と考える人の割合	73.2%（R5）	74.6%（R6）	73.2%（R11）	101.9%
全道の新規大学卒業者の道内就職割合	58.2%（R5）	60.9%（R6）	前年度より改善（R7～R11）	—
石狩地域の新規学卒・参入者の就農者数	34人（R5）	集計中	5年間で延べ80人増	—

R7年度の主な取組

- 道内外の大学と連携して大学生と管内企業の接点を創出するための交流会等を開催［市町村、振興局］
- 農商工連携・6次産業化を推進するため、関係機関・関係事業者等からなる検討会を開催［市町村、民間、振興局］
- 首都圏等で開催される移住フェアに出展し、管内市町村のバス運転手採用情報をPR［市町村、民間、振興局］

食と観光の魅力発信プロジェクト

【推進エリア】石狩地域

目的

都市と自然を満喫することができる石狩地域の特性を活かし、交流人口や関係人口の創出・拡大を図るため、景観や食、アウトドアなど豊富な観光資源のもと、市町村や観光事業者等と連携して、その魅力を効果的に発信するなど誘客プロモーションに取り組む。また、観光客の満足度向上等につなげるための受入体制の整備や多様なニーズに対応した観光メニューの提供、地域の食の魅力向上・活性化に取り組む。

これまでの主な取組・成果

●石狩ならではの観光推進に向けたプロモーションの展開



■動画等を利用した観光・特産品の情報発信（石狩市）

▶概要：30秒動画を49本制作・配信中。動画配信開始時から、石狩Instagramのフォロワーは約1,300人増加、石狩市公式Youtube登録者数は約170名増加。



■老朽化施設をアートとして再生する

「ストリートアート」イベント（新篠津村）

▶開催日：令和6年7月20日
▶概要：新篠津村にある古い建物を芸術作品に変える企画。アートイベントの第2弾として、日本で活躍するアーティスト unomori氏を招き、高さ7m・幅14mの巨大な倉庫の壁一面を使った大規模な創作。

●観光客の満足度を高める受入体制の整備に向けた取組の促進



■観光資源の商品化による来訪者満足度の向上（振興局）

▶概要：地方空港を有する県などにおいて、石狩管内の観光情報発信やSNS登録促進等に加えて、現地旅行会社との商談会を実施。49社と商談を実施し、観光素材の旅行商品化に向けて、管内の新規施設や食等の魅力について効果的にPRすることができた。

●多様なニーズに対応した観光メニューの提供や地域の食の魅力向上・活性化に向けた取組の促進と魅力発信



■北広島市の食材を活かした特産品

「きたひろおやき」の開発（北広島市）

▶概要：「まちの歴史を伝える新たな北広島名物を作りたい！」という熱い想いを持った北広島市内の事業者が集まり、新名物「きたひろおやき」が誕生。北広島産の米粉（白ぬかを含む）を使った生地で、各事業者自慢の具材を包んだ一品。北広島市内外で開催されるイベントでの出店を中心に販売中。

評価指標（KPI）

	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
石狩地域の観光入込客数	2,861万人(R5)	3,031万人(R6)	3,100万人(R11)	97.8%
石狩地域の食品工業の付加価値率	35.8%(R5)	集計中	35.8%(R11)	—

R7年度の主な取組

- 多様なニーズに対応した観光メニューの提供やイベント等を通じた食と観光の魅力発信〔振興局〕
- 管内8市町村の観光・食を紹介する電子パンフレット・HPのポータルサイト更新、観光パンフレットの整備、配布〔市町村、民間、振興局〕
- 観光関係者が意見交換等を行い、施策の展開につなげる「石狩振興局 地域観光戦略プラットフォーム会議」の開催〔市町村、民間、振興局〕

安心して子どもを産み育てられる環境づくりプロジェクト

【推進エリア】石狩地域

目的

地域で安心して子どもを産み育てられるよう、地域の特性や課題を踏まえながら、市町村等と連携し、出産・子育てを支える取組の充実を図るとともに、子育てをしながら働き続けられるよう、企業に対して、誰もが子育てと仕事とを両立できる働きやすい職場環境づくりに向けた取組を実施する。

これまでの主な取組・成果

●出産・子育てを地域で支える環境づくり



■地域子育て支援拠点職員研修会の開催（振興局）

- ▶概要：管内地域子育て支援拠点の視察や管外地域子育て支援拠点職員による事例発表及びワークショップの実施。
- ▶開催回数：2回
- ▶開催日：令和6年7月9日
令和6年11月27日
- ▶場所：ふれあいの杜こども館「ふれっこ」
北海道第二水産ビル



■子育て応援企業表彰の実施（恵庭市）

- ▶概要：子育て支援などに積極的に取り組んでいる市内企業を「恵庭市子育て応援企業」として認定。平成28年度から実施しており、令和6年度までに20企業の表彰を実施。
- ▶実績：令和6年度は子育て世帯が利用しやすい環境整備や市内の小学生を対象に職業体験を実施している点などを受け「医療法人ふあみーゆ ふあみーゆデンタルクリニック」の表彰を実施。

●働き方改革やワーク・ライフ・バランス実現に向けた企業の意識醸成



■札幌市ワーク・ライフ・バランスplus企業認証制度の実施（札幌市）

- ▶概要：働きやすい職場環境の整備を目指し、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍を推進するための取組を行う企業を認証。
- ▶実績：認証企業数1,135社（令和6年度末時点）

評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
石狩地域の地域子育て支援拠点数	38拠点（R6）	41拠点（R6）	39拠点（R11）	105.1%
石狩地域の放課後児童クラブ数	93箇所（R6）	98箇所（R6）	106箇所（R11）	92.5%
石狩地域における北海道働き方改革推進企業認定制度の認定企業数	158企業（R6）	163企業（R6）	214企業（R11）	76.2%

R7年度の主な取組

- 市町村ネットワーク会議の開催〔市町村、民間、振興局〕
- 保育所、認定こども園、小規模保育所整備に対する補助の実施〔市町村、振興局〕
- 就業環境支援に関する優待制度や相談窓口などの情報を発信〔市町村、民間、振興局〕

自然環境と調和したまちづくりプロジェクト

【推進エリア】石狩地域

目的

住民一人ひとりが安心して暮らし続けられるよう、環境や生態系の保全、再生可能エネルギーの普及や脱炭素（ゼロカーボン）の取組促進、不法投棄防止対策などにより、豊かな自然環境を守り育てるとともに、地域コミュニティ機能の維持・発揮に向けた取組や防災対策の推進など、誰もが住みやすいまちづくりの実現に向け取り組む。

これまでの主な取組・成果

●豊かな自然環境を守り育てる取組の推進



■小中学校など教育関係機関等と連携した木育教室や普及啓発イベントの開催（振興局）

▶概要：管内教育機関で森や木の講話や木工体験、森での林業体験を実施。また、公共施設等で、親子等を対象にした木工や木製遊具体験等を実施。

▶場所／回数：小中学校6校と大学2校／10回

公共施設や商業施設等／11回

参加者数：445人／612人



■環境イベント「とうべつゆるエコフェス」開催（当別町）

▶概要：環境問題やデコ活について楽しく学ぶイベントを開催。ペットボトルリサイクルについて学ぶすごろくゲーム・アップサイクル体験や農協から提供いただいた廃棄する野菜と参加者が持参したペットボトルの交換、「環境とまちづくり」をテーマにしたトークセッションを開催。

▶開催日：令和6年9月29日（日）

▶場所：当別町総合体育館、白樺公園

▶来場者：920人

●誰もが安心して暮らせる社会の形成



■ポイ捨て、不法投棄防止、3Rの推進を目的とした普及啓発などのPR活動を実施（振興局）

▶概要：環境月間（6月）及び廃棄物適正処理推進月間（10月）を強化月間として行った。その中で、廃棄物運搬車両の街頭指導でノベルティを配布しつつ適正処理等の啓発を実施した他、パトロールによる監視活動強化を図った。



■「石狩振興局地域防災マスター認定研修会」を開催（振興局）

▶概要：地域での防災活動のリーダーを育成し、地域防災活動を推進するとともに、地域防災力の強化を図った。

■防災に関する講座や講習会等の開催（各市町村）

評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
協働により実施する石狩地域での木育活動	18回（R5）	21回（R6）	26回（R11）	80.8%
石狩地域の狩猟免許所持者数	2,574人（R4）	集計中	2,840人（R11）	—
石狩の新エネルギー導入状況（発電分野の設備容量）	50.7万KW（R4）	集計中	84.9万KW（R11）	—
石狩地域の自主防災組織活動カバー率	88.1%（R5）	88.8%（R6）	88.8%（R11）	100%

R7年度の主な取組

■市町村・農協等に対してエゾシカ等の有害捕獲を許可し、捕獲を促進〔市町村、民間、振興局等〕

■木育マイスターや企業・団体、市町村や森林管理署等との連携による木育の普及啓発や植樹活動等への支援〔市町村、民間、振興局〕

■関係機関との情報共有会議等の場を通して、市町村並びに防災関係機関との連携強化を推進〔市町村、民間、振興局〕

農林水産業の持続的発展・ブランド化推進プロジェクト

【推進エリア】後志地域

目 的

担い手の確保や収益性の向上に向けた取組を推進し、農林水産業の持続的発展を図るとともに、豊富で良質な１次産品を活用した商品開発や情報発信などにより、高付加価値化やブランド化を促進する。

これまでの主な取組・成果

■ ShiriBeshi商談会の開催【振興局】

概 要：後志管内の１次産品や加工品をホテルやレストランへ売り込む商談会を開催

日 時：令和6年9月18日

場 所：ホテル第一会館 １階 プラザホール

参加者：出展者23団体

来場者：21社 45名 しりべしワインセミナー同時開催



ShiriBeshi商談会の様子

■ シャインマスカットの長期貯蔵技術の確立等、技術支援を実施【関係機関、振興局】

概 要：シャインマスカットの生育ステージに応じた巡回指導、現地研修会、長期貯蔵技術の検証等の技術支援により出荷量が増加したほか、商談会・相談会への参加とPR活動を実施しブランド化を図り、本州産と比較して高値取引を実現

■ 「ようていカラマツ」としてのブランド化の推進（民間施設における地域材利用推進の取組）【振興局】

概 要：後志産木材を利用した建築用材の地材地消の促進を図るため、地域材建築部材・木製品カタログやパンフレットを活用し、大手ゼネコンやリゾート関係会社に対し、ようていカラマツの利用促進に向けた働きかけを実施

相手方：(株)竹中工務店、(株)ドーコン、(株)日建設計、(株)久米設計

■ 各種イベントにおける後志管内水産加工品等の出品斡旋や販促PRを実施【民間、振興局】

概 要：管内水産物の消費を拡大するため、各種イベントで漁協等が扱う水産加工品等の出品斡旋や販促PRを実施

日 時：①令和7年5月24日～5月25日（ほっかいどう大漁まつり）、②令和7年6月1日（第①回豊かな海づくり大会）

場 所：①イオンモール札幌平岡、②ウイングベイ小樽

評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
新規就農者数	25人（R4）	25人（R5）	25人（R11）	100%
「ようていカラマツ」を利用促進する「しりべし・くつろ木の会」会員数	33団体（R6）	39団体（R6）	43団体（R11）	90.7%
新規漁業就業者数	10人（R5）	9人（R6）	10人（R11）	90%

R 7 年度の主な取組

■ ポータルサイトによる情報発信、ワイン関連生産者向けセミナー、ShiriBeshi商談会、出前相談会等により食の生産者を支援。【振興局】

■ 後志産木材を利用した建築用材の地材地消の促進を図るため、大手ゼネコンなどの有識者を講師に招き、「しりべし・くつろ木の会」の会員などに対し、勉強会を開催。【市町村、民間、振興局】

■ 高付加価値化活動の強化として、マーケティング講座の開催や新規就農者の支援体制強化のため意見交換会・研修会等を開催。【民間、振興局】

■ 資源が激減しているコウナゴについて、操業の効率化や適切な漁獲時期設定の一助とすることを目的に漁期前調査を実施。調査報告会を開催して、漁場におけるコウナゴ資源の状況や魚体サイズなど、操業にあたって参考となる漁期前情報を関係者に提供。【民間、振興局】

地域資源を活用した持続可能な観光地域づくりプロジェクト

【推進エリア】後志地域

目的

新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が解除されて以降の旅行者の消費動向の変化に対応しながら、自然景観や地域の文化の組み合わせによるアドベンチャートラベルや、ワインをはじめとする多様な食資源を活かしたツーリズムの推進など、後志地域ならではの優れた地域資源を活用し、旅行者の滞在期間の延長や観光の通年化、広域化を図り、持続可能な観光地域づくりを推進する。

これまでの主な取組・成果

■ ワイン関係者による連携会議、酒と食をテーマとした地域振興セミナーの開催【振興局・後志観光連盟】

概要：後志のワイン関係者による情報交換や、酒と食に関する情報や広域観光情報共有のためのセミナーを開催

・日時：令和7年1月30日 ・場所：ホテル水明閣 ・参加者：31名

■ A Tコンテンツ発掘相談会及び有識者招聘による磨き上げ【振興局】

概要：後志管内自治体、観光協会から情報提供があったコンテンツについてアドベンチャートラベル取扱旅行者より

アドバイスを受けるほか、こうしたコンテンツの商品化に向け専門家による現地視察・相談会を実施

・日時・場所：令和6年7月16日～17日（岩内町、泊村、共和町、蘭越町、黒松内町）

令和7年2月26日～27日（黒松内町、蘭越町、ニセコ町、倶知安町）

■ 北海道教育旅行説明会・商談会への参加【振興局・後志観光連盟・北海道観光機構】

概要：教育旅行の誘致に向け、東北・関東・関西圏の学校、旅行会社に対して後志地域のPRやモデルルートの説明を行うとともに、教育旅行の意向等についてのヒアリングを実施

・日時・場所：令和6年8月22日（宇都宮市） 令和6年8月23日（山形市）

令和6年12月17日（大阪市） 令和6年12月18日（東京都）

・後志管内参加者：小樽観光協会 ニセコリゾート観光協会 黒松内町観光協会 黒松内町

ルスツリゾートホテル&コンベンション ヒルトンニセコビレッジ オルゴール堂ホールディングス

ATコンテンツ発掘相談会



評価指標（KPI）

基準値（基準年）

実績値（実績年）

目標値（目標年）

進捗率

延べ宿泊者数

3,400千人泊
(R5)

3,502千人泊
(R6)

4,000千人泊
(R11)

87.6%

R7年度の主な取組

■ A Tコンテンツ発掘相談会や、旅行会社等の専門家を講師としたA Tコンテンツの商品造成支援・磨き上げ【振興局】

■ 雑誌への記事掲載や振興局サイトによる体験型観光の情報発信【民間、振興局】

■ 観光実態調査結果を踏まえた観光地域づくり法人（DMO）との連携による広域観光の推進【民間、振興局】

多様性を尊重し誰もが安全安心に暮らせる地域づくりプロジェクト

【推進エリア】後志地域

目 的

労働者の通年雇用化や学生を含む若年者に対する地元企業の魅力発信等を通じて、人材の流出を抑制し、地域経済の発展につなげるほか、移住・定住施策と一体となった取組等によりUIJターンを促進し、人材を誘致する。また、年間を通じて多くの外国人が滞在する環境を活かし、グローバルな視点で地域の活性化や持続的発展に貢献するグローバル人材の育成や、多文化共生社会の実現に資する取組を推進する。

これまでの主な取組・成果

■ ShiriBeshiグローバルインターンシップの実施〔町、民間、振興局〕

概 要：道内外の大学生等が、リゾート関連企業等でのインターンシップや、地域の方々との交流を通じて学ぶ人材育成プログラム。サマープログラムとウインタープログラムを開催。

- ・期 間：サマープログラム 令和6年8月5日～9月3日
：ウインタープログラム 令和7年2月1日～3月7日
- ・場 所：ニセコ町、倶知安町、岩内町
- ・参加者：計63名



ウインタープログラム参加者

■ 若者向け合同企業説明会の開催〔振興局〕

概 要：後志教育局などの関係機関と連携し、管内の高校生を対象として、将来ビジョンを描くためのキャリア教育を実施

また、職業選択の視野を広げる一助として、地元企業の概要や仕事の内容を周知することで、地元での就業促進を図るとともに、勤労観などを形成することで就職後の早期離職の抑制を図ることを目的として開催

- ・日 時：令和6年7月16日、11月14日
- ・参加者数：高校生170名、参加企業29社

主な評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
管内就職件数（ハローワーク）	2,216件（R5）	1,967件（R6）	R5実績以上（R11）	88.8%
日本語教室の開催場所	7か所（R5）	7か所（R6）	7か所を維持（R11）	100%

R 7 年度の主な取組

- 高校生を対象とした合同企業説明会や企業見学会の開催〔振興局〕
- 移住フェアへの出展、しりべしジョブフェアの開催〔市町村、民間、振興局〕
- 「ShiriBeshiグローバルインターンシップ」の実施〔市町村、民間、振興局〕

脱炭素社会を創造する「いぶり」産業展開プロジェクト

【推進エリア】胆振地域

目的

脱炭素型社会に向けた取組を積極的に進めている胆振地域が、「ゼロカーボン北海道」の実現に向け、本道の脱炭素化をリードするとともに、産業の持続的な発展に取り組む。

これまでの主な取組・成果

■ものづくり企業の人材確保支援〔振興局〕



◀ 期 間：令和6年4月8日～
 概 要：胆振地域の特色であるものづくり産業への就職促進策として高校生等を対象に、管内のものづくり企業の会社紹介・採用情報などを掲載したデジタルガイドブックを作成・公開。公開後も追加掲載希望の要請があるほか、各種メディアに取り上げられ新しい地元への就職PRを創造した。

■「ゼロカーボンカレッジ」の開催〔振興局・市町〕



◀ 概 要：TEAM「ゼロカーボンいぶり」では、胆振管内・管外のパートナーと連携・協力のもと、ゼロカーボン北海道の実現に必要な人材育成を目的とした「ゼロカーボンカレッジ」を展開している。令和6年度は、苫小牧工業高校にて振興局職員及び市職員によるゼロカーボンについての講義行ったあと、トヨタ自動車北海道株式会社にて「トヨタのゼロカーボンの取り組み」を聞き、工場視察を行った。

■各種補助金等を活用した脱炭素エネルギー設備の設置促進〔国、市町、民間、振興局〕

■企業誘致のための産官学金連携の促進〔市町〕

評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
道企業立地促進費補助金認定申請数	2件（R5）	4件（R6）	10件（R11）	40.0%
製造業の付加価値生産性	2,041万円（R3）	1,447万円（R4）	2,580万円（R11）	56.1%
電気自動車、燃料電池車、天然ガス自動車、プラグインハイブリッド自動車の合計台数（室蘭運輸支局管内）	911台（R4）	1,030台（R5）	3,000台（R11）	34.3%
新エネルギー導入量（発電設備容量）	99.9万kw（R4）	108.6万kw（R5）	155.4万kw（R11）	69.9%
間伐の実施面積	4,382ha（H30～R4累計）	618ha（R6単年）	5,700ha（R7～R11累計）	10.8%

R7年度の主な取組

- ものづくり企業の新規顧客開拓の活動を促進〔振興局〕
- 工業地域での太陽光発電設備の設置促進や再生可能エネルギーの適正導入マップ整備事業の実施〔市町〕
- 小学生を対象とした環境学習を実施〔市町〕

住みたい・訪れたい「いぶり」地域づくりプロジェクト

【推進エリア】胆振地域

目的

関係人口の創出・拡大に取り組むとともに、新鮮・多彩な食材の魅力発信や販路拡大の取り組みや地域の未来を支える人材の確保・育成や胆振東部地震からの着実な復旧と未来へつなぐ復興を進め、住みたい・訪れたい地域づくりの促進を図る。

これまでの主な取組・成果

■北海道どさんこプラザ札幌でのいぶりフェア開催 [振興局]



- ◀ 開催：令和7年2月5日～11日
場所：北海道どさんこプラザ札幌店
概要：胆振管内の特産品のPR及び販売拡大を図るため、物産・観光PRイベントを実施。
- <対応者の感想>
- ・対面販売で札幌圏の購入層に対してどのようなニーズがあるのかしれて良かった。
 - ・インパウンドの来場者も多く、胆振フェアを通じて知っていただくことが出来た。

■「胆振ものづくり産業取引促進商談会」の開催 [振興局]



- ◀ 開催：令和7年2月13日
場所：室蘭市
概要：胆振地域等のものづくり企業が、航空宇宙や半導体関連産業など、新分野の取引を始めるきっかけとして道内外の発注企業と商談会を実施。
(発注企業 21社、受注企業 47社 参加者140人以上)

■「いぶりお魚クッキングスクール」の開催 [振興局]

■一次産業従事者確保のため広報活動の実施 [市町・振興局]

■新しい防災拠点となり得るコミュニティ施設の改修 [市町]

評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
管内への観光入込客数	1,642万人 (R5)	1,708万人 (R6)	1,833万人 (R11)	93.2%
地域おこし協力隊の隊員数	111名 (R5)	85名 (R6)	165名 (R11)	51.5%
食品工業の付加価値額	453億円 (R3)	317億円 (R4)	493億円 (R11)	64.3%
新規就農者	118人 (H30～R4累計)	14人 (R6単年)	168人 (R6～R11累計)	8.3%
新規漁業就業者	24人 (H30～R4累計)	6人 (R6単年)	26人 (R6～R11累計)	23.1%
新規林業参入者数	32人 (H29, R1, R3累計)	12人 (R5単年)	35人 (R7, R9, R11累計)	34.3%
新規高卒者の管内就職内定率	70.7% (R4)	66.9% (R6)	72.4% (R11)	92.4%

R7年度の主な取組

- 外国人材受入促進セミナー&パネルディスカッションの開催 [振興局]
- 首都圏のレストランと連携したメニュー開発の実施 [振興局]
- 各種学校や地域おこし協力隊を活用した地元人材確保の取組 [市町]

「ナナイロひだか」産業振興プロジェクト

【推進エリア】日高地域

目的

国内の約8割を占める軽種馬生産やトマト、ピーマン、日高昆布など恵まれた農水産物に加え、森林資源も豊富であることから、地域の農林水産物の生産振興対策に取り組み「ひだか」製品の知名度向上と販路拡大を進めながら、環境と調和のとれた持続可能な産業振興をめざす。

これまでの主な取組・成果

■強い馬づくりに向けた軽種馬生産

- 獣医学生インターンシップ [振興局、町、民間]
軽種馬産業に係る獣医師を確保するため、管内の軽種馬獣医療関係者と連携し、獣医学生のインターンシップ受け入れを実施
【実績】受入人数2名（4泊5日）



■農林水産物の持続的発展に向けた生産振興対策の推進

- いぶり・ひだか有機農業ネットワークの取組
[振興局、町、民間]
管内における有機農業の取組拡大に向けた意見交換や有機飼料生産を行っている農業者の牧場の視察などを実施
【実績】年2回開催 参加事業者（のべ）15名



■「ひだか」製品の知名度向上と販路拡大

- 日高の豊かな海の幸フェス [振興局、町、民間]
三笠高校レストランでの「日高の海の幸ランチフェア」や日高の水産物をPRするweb人気投票「HiFa2025」を実施
【実績】ランチフェア 245食完売
HiFa 608件応募(総数)



- 管内ブランド米の販売会及び試食会 [振興局、民間]
管内ブランド米のPRのため、生産者とともに札幌市内のスーパーマーケットで販売会を開催したほか、職員自らがひだかのお米のおいしさを知り、PRすることを目的に振興局内での販売会及び試食会を開催
【実績】札幌市のスーパーで販売会を1回開催
管内4農協のブランド米を振興局内で販売



評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
漁業生産額	100億円（R5）	100億円（R6）	119億円（R11）	84.0%
軽種馬生産規模の維持	6,239頭/年（R5）	6,242頭/年（R6）	6,250頭/年（R11）	99.9%
振興局職員の副業従事者数（再掲）	36人/年（R5）	27人/年（R6）	50人/年（R11）	54.0%

R7年度の主な取組

- 軽種馬産業に係る獣医師確保に向けた獣医学生のインターンシップ受入、管内受入情報の収集・発信 [振興局、町、民間]
- 管内水産物の消費拡大を図るため、「日高の豊かな海の幸フェス」として参加型イベント等によるPRを実施 [振興局、町、民間]
- 「ひだか」製品の販路拡大を図るため、食の専門家が生産現場を訪問し、事業者への助言を行う機会を創出 [振興局、町、民間]

「ナナイロひだか」人材確保・育成プロジェクト

【推進エリア】日高地域

目的

各産業における担い手の確保・育成はもとより、高校や大学との連携による若者のまちづくりに参画する機会の創出、移住・定住の促進、副業活動の普及、防災教育の推進、防災・減災意識の向上など地域を支える人材の確保・育成に向けた取組を総合的に進める。

これまでの主な取組・成果

■一次産業をはじめとする各産業の担い手等の確保・育成

○指導農業士・農業士研修会〔振興局、町、民間〕
指導農業士・農業士を対象に、担い手の受入や指導体制の構築を目的とした研修会を開催
【実績】2回開催 参加事業者（のべ）23名



○インターンシップ等の実施〔振興局、民間〕
管内の高校生を対象に森林講座や高性能林業機械の操作体験や北の森づくり専門学院の2年生を対象に長期就業実践実習の支援を実施
【実績】職業体験1校 参加生徒3名
長期就業実践実習受入企業4社 参加生徒4名



○ナナイロひだかサポーター制度〔振興局、民間〕
振興局職員が一次産業の副業活動に従事
【実績】管内3地域4業種
従事職員（実人数）27名



■高校や大学と連携・協働した人材の育成

○ナナイロひだか高校生応援プロジェクト
〔振興局、高校、教育局、民間〕
管内の高校と連携し、地域課題の解決方法を考える授業やモデルコースの造成、生徒発案のレシピコンテストへの支援などを実施
【実績】10回開催 参加生徒34名



■移住・定住の促進などによる人材の確保

○地域おこし協力隊の任用〔振興局、町〕
振興局で地域おこし協力隊を1名任用。日高地域協力隊員の交流会の開催や移住・定住相談会に出展
【実績】3回出展 相談会参加者61名



■防災・減災など地域を支える人材の育成

○地域防災ミーティングの開催〔振興局、町〕
避難訓練や災害時の支援活動等の参加を促すため地域防災マスターや町職員が相互に顔の見える関係を構築
【実績】管内4町で開催 参加者53名



評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
新規就業者数（農業）	12人（R4）	15人（R5）	25人（R11）	60.0%
新規就業者数（漁業）	4人（R4）	14人（R6）	16人（R11）	88.0%
新規就業者数（林業）	2人（R3）	8人（R5）	4人（R11）	200.0%
振興局職員の副業従事者数	36人/年（R5）	27人/年（R6）	50人/年（R11）	54.0%
自主防災組織活動カバー率 ※全国平均	54.1%（R5） ※85.4%	54.2%（R6） ※85.4%	全国平均以上（R11）	63.5%

R7年度の主な取組

- 管内高校と連携して人材の育成・環流を目指す「ナナイロひだか高校生応援プロジェクト」の展開〔振興局、町、民間〕
- 管内の中高校生に向けて地元産業等を紹介する冊子の作成、地元企業の若手社員等との座談会の開催〔振興局、民間〕
- 職員の副業など一次産業の働き手確保を目指したナナイロひだかサポーター制度の運営〔振興局、民間〕

「ナナイロひだか」 魅力向上・発信プロジェクト

【推進エリア】日高地域

目的

広大な牧場風景に加え、アポイ岳や日高山脈、襟裳岬をはじめとする変化に富んだ海岸線など豊かな自然環境を有しており、道内でも多くのアイヌの人たちが居住している。日高山脈襟裳十勝国立公園の誕生や高規格道路の延伸を踏まえ「ひだか」の魅力をより一層向上させ、積極的に情報発信し関係人口の創出・拡大をめざす。

これまでの主な取組・成果

■札幌・胆振・十勝圏域などからの誘客を図る広域観光の推進

○日高管内の魅力発信を行う物産展を開催

〔振興局、町、民間〕

札幌駅前地下歩行空間で観光物産展を開催し特産品の販売やアイヌ文化、観光のPRなどを実施したほか、どさんこプラザ札幌店でひだかフェアを実施

【実績】地下歩行空間 来場者数 9,290人
ひだかフェア 事業者数 24事業者
売上額 1,044千円



○無料音声ガイド「ひだかdeおさんぽ」の取組

〔振興局、町、民間〕

企業版ふるさと納税を活用し、日高管内7町のアイヌ文化や豊かな自然、馬産地の歴史と文化等の観光スポットを無料音声ガイドで解説する「音声ガイド・ひだかdeおさんぽ～馬と自然と文化の旅～」の取組を実施

【実績】解説する観光スポット数 45



■豊かな自然や食などを活かした観光地づくりと受入体制

○国立公園記念シンポジウム・自然体験会

〔振興局、環境省〕

国立公園の指定を記念したシンポジウムの開催や子どもたちに公園の価値を体感してもらう「Feel The HIDAKA(自然体験会)」を開催

【実績】シンポジウム 来場者 約100名
自然体験会 参加者(のべ) 77名



■国内外に向けた「ひだか」の魅力の発信

○日高自動車道新冠IC開通に向けたPR

〔振興局、町、民間〕

今後、予定されている新冠ICの開通を広くPRするため、日高自動車道延伸PR動画を作成するとともに地元のシンガーソングライターとコラボしたPRを展開

【実績】振興局公式Instagram 16,686view
Youtube 約19,000回再生



評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
観光入込客数	1,640千人(R5)	1,737千人(R6)	2,083千人(R11)	83.3%

R7年度の主な取組

- 空き家等を活用した宿泊業への参入を支援するため、事業者向けのセミナーや伴走支援を実施〔振興局、町、民間〕
- 指定1周年記念シンポジウムや小学生向け環境教育の促進などを通じた国立公園の魅力向上・発信〔振興局、町、民間〕
- 日高自動車道新冠IC開通に向けたプロモーション等の実施、日高管内の魅力発信を行う物産展等の開催〔振興局、町、民間〕

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 （基準年）	R7	R8	R9	R10	R11	目標値 （目標年）	進捗率
日本遺産「炭鉄港」 を活用した交流人口 拡大プロジェクト	炭鉄港推進協議会構成市町への 観光入込客数	16,427千人 （R5）	17,241千人 （R6）					16,920千人 （R11）	101.9%
アイヌ文化等の地域 資源を活かした日胆 地域活性化プロジェクト	胆振・日高地域への観光入込客数	1,806万人 （R5）	1,882万人 （R6）					2,041万人 （R11）	92.2%
ジオパークの連携に よる関係人口等の創出・ 拡大プロジェクト	ジオパーク構成市町への観光入込客数	1,866万人 （R5）	1,949万人 （R6）					2,200万人 （R11）	88.6%
縄文遺跡群などを活用 した魅力発信と誘客 促進プロジェクト	観光入込客数（渡島地域）	1,160万人 （R5）	1,271万人 （R6）					1,408万人 （R11）	90.3%
	観光入込客数（檜山地域）	135万人 （R5）	149万人 （R6）					155万人 （R11）	96.1%
	観光入込客数（胆振地域）	1,642万人 （R5）	1,708万人 （R6）					1,833万人 （R11）	93.2%
	観光入込客数（石狩地域）	2,861万人 （R5）	3,031万人 （R6）					3,100万人 （R11）	97.8%
	縄文文化の魅力情報発信に向けた取組 を行った市町数（渡島地域）	2市町 （R5）	2市町 （R6）					11市町 （R11）	18.2%

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 （基準年）	R7	R8	R9	R10	R11	目標値 （目標年）	進捗率
一次産業の未来を広げる 産業振興プロジェクト	空知の耕作面積の維持	113,500ha (R5)	113,500ha (R6)					113,500ha (R11)	100.0%
「空知」の魅力発信 ・誘客促進プロジェクト	「そらち・デ・ビュー」 公式SNSのフォロワー数	20,120人 (R5)	28,672人 (R6)					29,720人 (R11)	96.5%
	管内への観光入込客数	1,274万人 (R5)	1,340万人 (R6)					1,350万人 (R11)	99.3%
	移住相談件数	781件 (R5)	704件 (R6)					919件 (R11)	76.6%
「空知」に関わりを持つ 人材創出プロジェクト	新規高卒者管内企業就職率	52.0% (R5)	53.0% (R6)					63.9% (R11)	82.9%
	保育所等入所待機児童数	3人 (R6)	3人 (R6)					0人 (R11)	0.0%

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 （基準年）	R7	R8	R9	R10	R11	目標値 （目標年）	進捗率
若者の地元定着促進 と道外からの人の 呼び込みプロジェクト	石狩地域における若い世代（15～39歳） の道外への転出超過数	2,827人 （R5）	3,237人 （R6）					2,827人 （R11）	87.3%
	道央地域における「できれば今と同じ 市町村に住み続けたい」と考える人の 割合	73.2% （R5）	74.6% （R6）					73.2% （R11）	101.9%
	全道の新規大学卒業者の道内就職割合	58.2% （R4）	60.9% （R6）					前年度 より改善 （R7～11）	—
	石狩地域の新規学卒・参入者の就農者 数	34人 （R5）	集計中					5年間 （R7～R11） で延べ 80人増	—
食と観光の魅力発信 プロジェクト	石狩地域の観光入込客数	2,861万人 （R5）	3,031万人 （R6）					3,100万人 （R11）	97.8%
	石狩地域の食品工業の付加価値率	35.8% （R3）	集計中					35.8% （R11）	—

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 （基準年）	R7	R8	R9	R10	R11	目標値 （目標年）	進捗率
安心して子どもを 育てられる環境づくり プロジェクト	石狩地域の地域子育て支援拠点数	38拠点 (R6)	41拠点 (R6)					39拠点 (R11)	105.1%
	石狩地域の放課後児童クラブ数	93箇所 (R6)	98箇所 (R6)					106箇所 (R11)	92.5%
	石狩地域における北海道働き方改 革推進企業認定制度の認定企業数	158企業 (R6)	163企業 (R6)					214企業 (R11)	76.2%
自然環境と調和した まちづくりプロジェクト	協働により実施する石狩地域での 木育活動	18回 (R5)	21回 (R6)					26回 (R11)	80.8%
	石狩地域の狩猟免許所持者	2,574人 (R4)	集計中					2,840人 (R11)	—
	石狩の新エネルギー導入状況 （発電分野の設備容量）	50.7kw (R4)	集計中					84.9万kw (R11)	—
	石狩地域の自主防災組織活動 カバー率	88.1% (R5)	88.8% (R6)					88.8% (R11)	100%
農林水産業の持続的 発展・ブランド化推進 プロジェクト	新規就農者数	25人 (R4)	25人 (R5)					25人 (R11)	100%
	「ようていカラマツ」を利用促進 する「しりべし・くつろ木の会」 会員数	33団体 (R6)	39団体 (R6)					43団体 (R11)	90.7%
	新規漁業就業者数	10人 (R5)	9人 (R6)					10人 (R11)	90%

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 （基準年）	R7	R8	R9	R10	R11	目標値 （目標年）	進捗率
地域資源を活用した 持続可能な観光地域 づくりプロジェクト	延べ宿泊者数	3,400千人泊 (R5)	3,502千人泊 (R6)					4,000千人泊 (R11)	87.6%
多様性を尊重し誰もが 安全安心に暮らせる 地域づくりプロジェクト	管内就職件数（ハローワーク）	2,216件 (R5)	1,967件 (R6)					R5実績以上 (R11)	88.8%
	日本語教室の開催場所	7か所 (R5)	7か所 (R6)					7か所を維持 (R11)	100%
脱炭素社会を創造する 「いぶり」産業展開 プロジェクト	道企業立地促進費補助金認定申請数	2件 (R5)	4件 (R6)					10件 (R11)	40.0%
	製造業の付加価値生産性	2,041万円 (R3)	1,447万円 (R4)					2,580万円 (R11)	56.1%
	電気自動車、燃料電池車、天然ガス自動車、プラグインハイブリット自動車の合計台数（室蘭運輸支局管内）	911台 (R4)	1,030台 (R5)					3,000台 (R11)	34.3%
	新エネルギー導入量（発電設備容量）	99.9万kw (R4)	108.6万kw (R5)					155.4万kw (R11)	69.9%
	間伐の実施面積	4,382ha (H30～R4 累計)	618ha (R6単年)					5,700ha (R7～R11 累計)	10.8%

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 （基準年）	R7	R8	R9	R10	R11	目標値 （目標年）	進捗率
住みたい・訪れたい 「いぶり」地域づくり プロジェクト	管内への観光入込客数	1,642万人 (R5)	1,708万人 (R6)					1,833万人 (R11)	93.2%
	地域おこし協力隊の隊員数	111名 (R5)	85名 (R7)					165名 (R11)	51.5%
	食品工業の付加価値額	453億円 (R3)	317億円 (R4)					493億円 (R11)	64.3%
	新規就農者	118人 (H30～R4 累計)	14人 (R6単年)					168人 (R6～R11 累計)	8.3%
	新規漁業就業者	24人 (H30～R4 累計)	6人 (R6単年)					26人 (R6～R11 累計)	23.1%
	新規林業参入者数	32人 (H29, R1, R3累計)	12人 (R5単年)					35人 (R7, R9, R11 累計)	34.3%
	新規高卒者の管内就職内定率	70.7% (R4)	66.9% (R6)					72.4% (R11)	92.4%
「ナナイロひだか」 産業振興プロジェクト	漁業生産額	100億円 (R5)	100億円 (R6)					119億円 (R11)	84.0%
	軽種馬生産規模の維持	6,239頭/ 年 (R5)	6,242頭/ 年 (R6)					6,250頭/ 年 (R11)	99.9%
	振興局職員の副業従事者数	36人/年 (R5)	27人/年 (R6)					50人/年 (R11)	54.0%

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 （基準年）	R7	R8	R9	R10	R11	目標値 （目標年）	進捗率
「ナナイロひだか」 人材確保・育成 プロジェクト	新規就業者数（農業）	12人 （R4）	15人 （R5）					25人 （R11）	60.0%
	新規就業者数（漁業）	4人 （R4）	14人 （R6）					16人 （R11）	88.0%
	新規就業者数（林業）	2人 （R3）	8人 （R5）					4人 （R11）	200.0%
	振興局職員の副業従事者数	36人/年 （R5）	27人/年 （R6）					50人/年 （R11）	54.0%
	自主防災組織活動カバー率 ※全国平均	54.1% （R5） ※85.4%	54.2% （R6） ※85.4%					全国平均以上 （R11）	63.5%
「ナナイロひだか」 魅力向上・発信 プロジェクト	観光入込客数	1,640千人 （R5）	1,737千人 （R6）					2,083千人 （R11）	83.3%

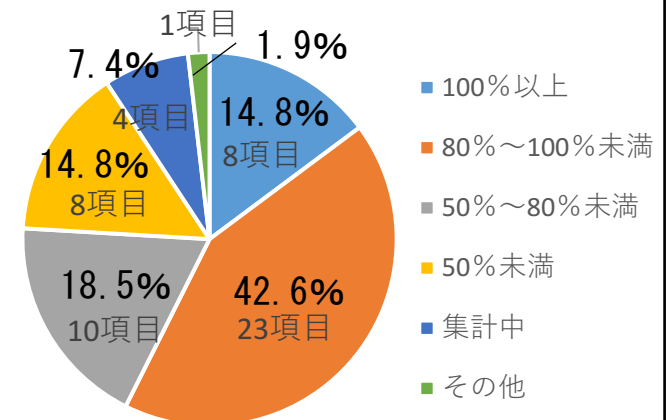
【全体評価】

- ・ 全体評価指標のうち、各地域で複数の指標が進捗率80%を超えており、既に進捗率100%を達成した項目も確認されるなど、順調に推移している。
- ・ 観光入込客数については、コロナ禍収束後の旅行需要の回復やインバウンド需要の拡大により、道央圏全体で増加傾向が見られる。

【全体総括】

- ・ 総じて、道央圏においては観光や産業分野での成果がみられる一方、人口減少や首都圏への若者流出、人材不足などの課題は共通しており、担い手の確保や持続的な地域づくりに向けた対応が必要である。
- ・ 今後も市町村をはじめとした関係機関と連携しながら、各プロジェクトの目標達成に向けて取り組む。

評価指標全体

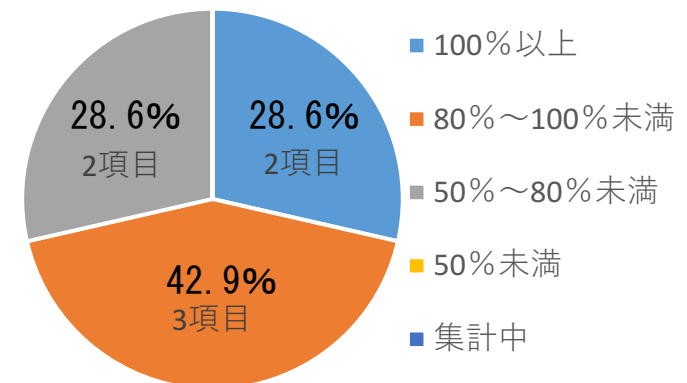


評価指標（KPI）一覧

分析・対応方向（空知地域）

- ・ 7件の評価指標のうち、5件が進捗率が80%を超えており、このうち1つは既に目標値を達成している。
- ・ 空知地域の耕作面積は、現状を維持している状況であり、背景には複数の要因が考えられるが、スマート農業の導入や省力化機械の普及もその一因と考えられる。
- ・ 「そらち・デ・ビュー」公式SNSのフォロワー数は、基準値(R5)と比較して約4割増加しており、情報発信力の向上とともに、関係人口の創出に向けた施策の効果が大きく現れているものと考えられる。
- ・ 管内への観光入込客数は、全体で約1340万人となり、前年度の約1274万人から約66万人（5.2%）の増加で平成22年度に空知総合振興局となって以降、過去最高となった。
- ・ 移住相談件数は、コロナ禍にテレワークの普及や生活環境の見直しを背景に増加したが、収束後は都会での生活に戻る人が多く、前年の反動として相談件数が減少したのと考えられる。
- ・ 新規高卒者管内企業就職率は、基準値(R5)と比較して、1%増加しており、一定の改善が見られるが、一方で、引き続き地元定着を図るためには、魅力発信はもとより、企業や学校との連携強化など、地元就職を促進する取組の継続・強化が必要である。
- ・ 空知地域における保育所等の入所待機児童数は、現状を維持している。今後も、地域の需要や人口動向を踏まえた適切な施設の確保等が求められる。
- ・ 令和7年度も、市町や関係機関と連携しながら、各プロジェクトの目標達成に向けて取組を進めていく。

評価指標全体



評価指標（KPI）一覧

分析・対応方向（石狩地域）

・14の評価指標のうち、進捗率50%を超える指標が9項目あり、そのうち進捗率80%以上が8項目となっており、4項目の指標が目標値を達成。

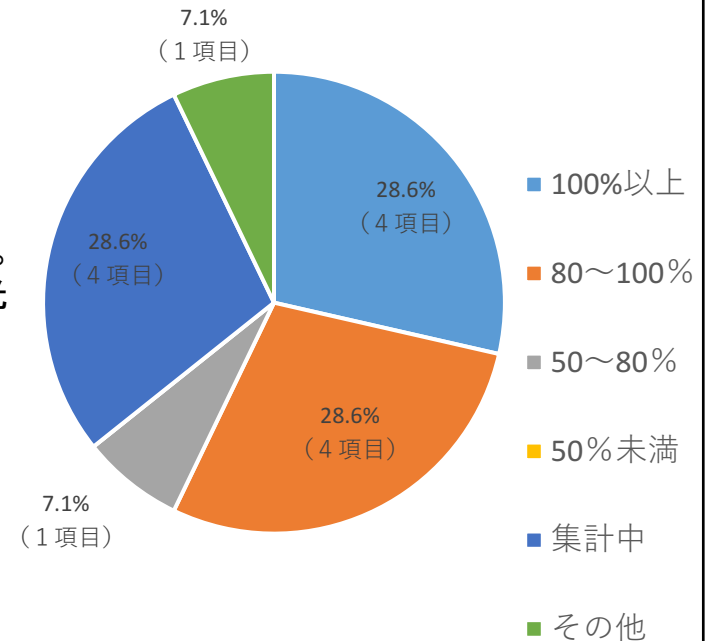
・若い世代（15～39歳）の首都圏への転出超過数は、基準値より上回っており、引き続き管内大学と連携した大学生の地域活動や、小中学校への出前授業・体験学習の実施等による若者の地元定着の促進を図り、指標の推移を注視していく。

・観光入込客数については、コロナ禍の収束に伴う国内旅行需要の回復や、円安による訪日旅行の割安感を背景に、観光客数は増加傾向にある。今後も国内外での積極的なプロモーション活動やSNS活動などにより観光客を札幌周辺地域へ誘引するプラスワン観光の推進をしていく。

・子育て支援拠点の整備は着実に進んでおり、拠点数は当初の目標値を上回る水準で増加している。都市地域の特性や課題を踏まえながら市町村等と連携し、安心して子どもを生み育てられる環境づくりに向けた取組を実施する。

・令和7年度も引き続き各市町村や関係機関と連携しながら、各プロジェクトの目標達成に向け、取組を推進してまいらる。

評価指標全体

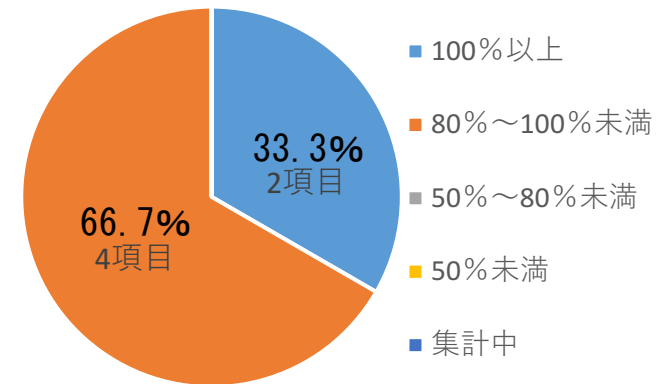


評価指標（KPI）一覧

分析・対応方向（後志地域）

- ・ 6 の評価指標のうち、全て評価指標が進捗率80%を超えており、そのうち2つの指標が目標値を達成している。
- ・ 「ようていカラマツ」を利用促進する「しりべし・くつろ木の会」の会員数は、PR活動等による、利用促進の効果で前年と比べて6団体増加している。
【 33団体 (R6) → 39団体 (R6) 】
- ・ 新規就農者数は、引き続き支援体制強化等の取組を推進する。
【25人 (R4) → 25 人 (R5) 】
- ・ 延べ宿泊者数については、前年と比べて100万人以上増加している。
【3,400千人泊 (R5) → 3,502千人泊 (R6) 】
- ・ 新規漁業就業者数や管内就職件数については、全国的な労働力不足もあり、現状、目標達成には至っていないが、引き続き説明会の開催や移住フェアでのPRなどを通じて取組を推進する。
【新規漁業就業者数 10 人 (R5) → 9 人 (R6) 】
【管内就職件数 2,216 人 (R5) → 1,967人 (R6) 】
- ・ 日本語教室の開催場所については、引き続き市町村等と連携し取組を推進する。
【7か所 (R5) → 7か所 (R6) 】

評価指標全体

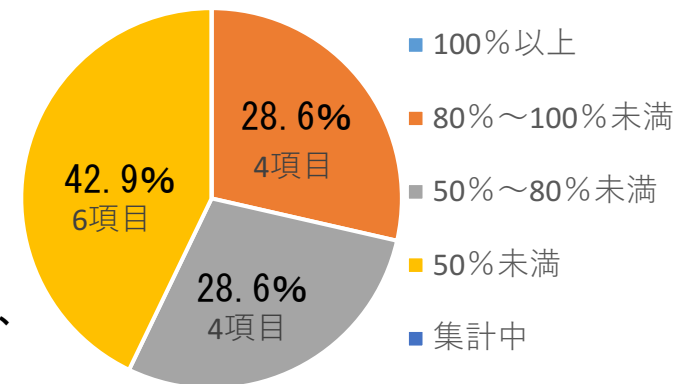


評価指標（KPI）一覧

分析・対応方向（胆振地域）

- 14の評価指標のうち、8つが進捗率50%を超え、内3つが90%を超えている。
- 電気自動車、燃料電池車、天然ガス自動車、プラグインハイブリット自動車の合計台数は1,030台と基準値911台を上回る結果となったが、目標値の達成に向けて、引き続き、情報発信やセミナー等の開催して脱炭素社会を推進していく。
- 令和7年度取組にあたっては、ものづくり企業の新分野参入支援や就農フェアの開催など、引き続き、胆振地域の産業を支える人材の確保に注力していくとともに、本道における次世代半導体産業進出などの動きを、各指標の進捗につなげていけるよう、関係機関と連携しながら、各プロジェクトを推進していく。

評価指標全体



評価指標（KPI）一覧

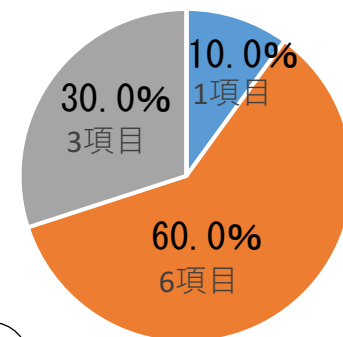
分析・対応方向（日高地域）

○令和6年度に策定した北海道総合計画や第3期北海道創生総合戦略を踏まえ、昨年度、令和7年度（令和7年4月）から概ね5年を推進期間とする道央広域連携地域政策展開方針を策定。推進期間以前ではあるものの直近の主な指標数値からみる地域の現状は次のとおり。

○各評価指標について、7つの項目で目標に対する進捗率が80%を超えており、概ね順調に推移している。今後も地域との連携・協働を一層強化していきながら、振興局においては、地域政策推進事業を中心に各プロジェクトの推進を図る。

- ・「漁業生産額」は、令和3年に発生した赤潮被害からの回復に向けた取組を行っているが、未だ回復途上であり、横ばい傾向となっている。（R5指標）
- ・「軽種馬生産規模の維持」は、高水準で推移しており目標値に近づいている。（R6指標）
- ・「新規就業者数（農業）」は、新規就農者の定着を目指しキックオフミーティングや視察研修の取組の実施により増加傾向となっている。（R5指標）
- ・「新規就業者数（林業）」は、インターンシップの取組などにより増加傾向となっている。（R5指標）
- ・「振興局職員の副業従事者数」は、前年の海温上昇の影響により昆布が不漁となったことで副業活動日数が大幅に減少したことに伴い従事者数も減少している。（R6指標）
- ・「自主防災組織活動カバー率」は、防災教育等の取組により微増となっている。（R6指標）

評価指標全体



- 100%以上
- 80%～100%未満
- 50%～80%未満
- 50%未満
- 集計中

R 7 年度における空知総合振興局の主な取組（地域政策推進事業）①

事業名	概 要	主な関連プロジェクト(※)
日本遺産「炭鉄港」広域連携加速化事業	日本遺産に認定された「炭鉄港」に対する理解や関心を高め、道内外からの交流人口の拡大を図るため、空知・石狩・後志・胆振の4地域が連携し、人材育成・普及啓発・情報発信などの取組を総合的に推進する。	①
北海道空知魅力発信事業	「空知」ならではの観光・物産やライフスタイル、生活環境などに関する情報を総合的に発信し、空知地域に対する関心や理解度の向上、首都圏等での知名度向上を図り、人とモノの流れの創出を目指す。	③
目指せ「空知人」！地域おこし協力隊活動応援事業	空知管内で活動する地域おこし協力隊員が市町村の枠を超えて他の隊員と交流・連携する機会を設け、実践的な課題解決力の習得を後押しすることにより活動の幅を広げ、地域を支える人として定着を図る。	③
空知地域公共交通維持・確保推進事業	管内のバス路線においては、利用者の減少や運転手不足に伴う減便が相次いでいることから、「北・中・南空知地域公共交通計画」を踏まえ、関係団体や事業者等と連携・協力しながら、運転手人材の確保や輸送資源の効率化に向けた取組を実施し、持続可能な交通体系の構築を推進する。	④
空知の農業・農村未来づくり事業	空知の基幹産業である「農業」の持続的な発展に向けた「土づくり」と「人づくり」を柱に、スマート農業の普及拡大やカーボンクレジットの創出、空知農産物のブランド化・付加価値の向上などの取組を推進する。	②③④
空知地域産業人材確保対策事業	合同企業説明会等の実施により、新規卒卒者など若者の人材確保・定着に取り組む。	④

※空知地域が推進するプロジェクト

① 日本遺産「炭鉄港」を活用した交流人口拡大プロジェクト	② 一次産業の未来を広げる産業振興プロジェクト
③ 「空知」の魅力発信・誘客促進プロジェクト	④ 「空知」に関わりを持つ人材創出プロジェクト

R 7 年度における空知総合振興局の主な取組（地域政策推進事業）②

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト(※)
空知「食」と「ワイン」の ブランド強化事業	食やワインのブランド化や産地づくりを推進し、空知の主要な産業である食産業の振興を図る。	②③
空知アドベンチャー トラベル推進事業	空知管内の多様な食、観光資源の魅力をアドベンチャートラベルを切り口に情報発信し、マイクロ ツーリズムを一層推進する。	③
空知GX産業集積促進事業	本道がGX金融・資産運用特区に指定された機を捉え、情報発信・普及啓発・人材育成の取組により地域 のGXプロジェクトを推進し、GX分野における地域への波及効果を創出する。	②
そらちゼロカーボン ジュニアキャンプ事業	子供たちのゼロカーボン意識の向上を目的として、道内で唯一、環境教育等促進法に基づく「体験の 機会の場」の認定を受けている「雨煙別小学校」と連携し、空知の自然環境を活かしたゼロカーボン に繋がる取組を知る体験型キャンプ（合宿）プログラムを開発・開催する。	③

※空知地域が推進するプロジェクト

① 日本遺産「炭鉄港」を活用した交流人口拡大プロジェクト	② 一次産業の未来を広げる産業振興プロジェクト
③ 「空知」の魅力発信・誘客促進プロジェクト	④ 「空知」に関わりを持つ人材創出プロジェクト

R 7 年度における石狩振興局の主な取組（地域政策推進事業及び地域共創推進事業）

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト(※)
食と観光の魅力発信プロジェクト事業	市町村、関係団体及び事業者等と連携し、多様なニーズに対応した観光メニューの提供やイベント等を通じた食と観光の魅力発信、管内のキーパーソンとなる人材の育成に取り組む。	②
いしかりエリアローカルツーリズム推進事業	管内の魅力ある観光コンテンツの発掘・磨き上げを図り、客観的な視点から地域の現状を把握して、自らの地域の観光地域づくりに対する取組主体の意識や知識を向上させる。	②
いしかり地域おこし協力隊定住・定着促進事業	管内における地域おこし協力隊員の確保や任期後の定住・定着に向けた取組を行うとともに、いしかり地域おこし協力隊ネットワークの自走化を見据え、任期中の隊員の活動や交流促進を支援する。	①
いしかり地域若者定着促進事業	管内における人口減少の課題への対応として、若者の地域への愛着を醸成し、地域の魅力を発信することで、石狩地域への若者の地元定着・人材還流の促進に向けた取組を実施する。	①
いしかり地域就業促進事業	若手人材が管内企業に関心を向けるべく学生と企業との接点を作り、学生により深く企業を認識させることで、学生の管内企業への就職を促すとともに、管内企業に対して就業環境等の整備を促すための支援を行う。	①
「いしかりシビックプライド」醸成こども応援事業	管内において、安心して子どもを生み育てられる環境づくりを促進するとともに、子どもや子育て家庭を地域で支える体制の充実や環境に配慮したゼロカーボン北海道の推進等を通じ持続可能な地域づくりを推進する。	③

※石狩地域が推進するプロジェクト

①若者の地元定着促進と道外からの人の呼び込みプロジェクト	②食と観光の魅力発信プロジェクト
③安心して子どもを生み育てられる環境づくりプロジェクト	④自然環境と調和したまちづくりプロジェクト
⑤縄文遺跡群などを活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト	⑥日本遺産「炭鉄港」を活用した交流人口拡大プロジェクト

R 7 年度における後志総合振興局の主な取組（地域政策推進事業）①

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト(※)
ShiriBeshi グローカル インターンシップ事業	地域でのインターンシップと多文化共生の場を通じたグローバルな人材の育成に取り組むことで、若者を管内に呼び込み、関係人口の増大を目指す。	③
ShiriBeshi ゼロカーボン 推進事業	ゼロカーボン北海道に向けた道民の意識醸成のため、ゼロカーボン北海道に係る各種啓発活動を行うとともに、後志地域の個性・独自性を活かし、企業活動とゼロカーボンの調和の代表的な例として、管内ワイナリーのカーボンニュートラル推進を図る。	①
ShiriBeshi 持続可能な 観光地づくり推進事業	国際リゾートエリアである後志を持続可能な観光地としていくため、地域の「稼ぐ力」を引き出すDMOと連携し、環境負荷が低く、地域経済には高いインパクトを与え、ゼロカーボンにも資する旅行形態であるアドベンチャートラベル（AT）の推進等に取り組む。	②
しりべしゼロカーボン 農業展開事業	化学肥料・農薬の低減に向けた技術実証と、クリーン農業を始めとした地域資源の有効活用・人材育成に取り組む。	①
後志版「ほっかいどう企業 の森林づくり」推進事業	管内のリゾート関係会社等に対し、森林整備を通じたCSR活動として、「ほっかいどう企業の森林づくり」の情報発信及び参画への働きかけを行うとともに、併せて、積極的な地域材の利用を働きかけ、後志地域における森林吸収源対策を推進する。	①
ニセコトレイル利用促進事業	多様な生物環境や希有な自然地形が分布するニセコ山系において、近年注目されているロングトレイルのコースを設定することで、国定公園の利用者増加と適正な管理を図るとともに、アドベンチャーツーリズムに適したコンテンツであることを活かし、夏季の後志観光を推進する。	②

※後志地域が推進するプロジェクト

① 農林水産業の持続的発展・ブランド化推進プロジェクト
② 地域資源を活用した持続可能な観光地域づくりプロジェクト
③ 多様性を尊重し誰もが安全安心に暮らせる地域づくりプロジェクト
④ 日本遺産「炭鉄港」を活用した交流人口拡大プロジェクト

R 7 年度における後志総合振興局の主な取組（地域政策推進事業）②

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト(※)
ShiriBeshiの気候風土が育む食のレベルアップ事業	後志管内で意欲的な取組を行う事業者に対し、生産や商品化、販路拡大の各段階で伴走型の支援を行い、後志管内の食に関するレベルアップを図る。	①
後志地域人材確保・人材誘致推進事業	しりべしジョブフェアの開催、北海道移住・交流フェアへの出展などにより管外から人材を呼び込むとともに、高校生向け合同企業説明会、企業見学会の実施により若年者の地元定着促進を図る。	③
後志管内公共交通活性化事業	バス運転手等の確保として移住・交流フェアや就職・転職フェアに関連事業者と連携して出展するとともに、PR動画の作成やHP・各種SNSを活用した情報発信を行う。また、北海道新幹線の札幌延伸に向けた啓発活動についても同様に行う。	③
コウナゴ漁期前調査事業	水産試験場や関係漁業者と連携して、コウナゴ漁期前調査を実施し、漁場におけるコウナゴ資源の状況や魚体サイズを推定。操業の効率化や適切な漁獲時期設定の一助とするほか、今後の自主的な資源管理など、漁業者の意識醸成を図る。	①

※後志地域が推進するプロジェクト

① 農林水産業の持続的発展・ブランド化推進プロジェクト
② 地域資源を活用した持続可能な観光地域づくりプロジェクト
③ 多様性を尊重し誰もが安全安心に暮らせる地域づくりプロジェクト
④ 日本遺産「炭鉄港」を活用した交流人口拡大プロジェクト

R 7 年度における胆振総合振興局の主な取組（地域政策推進事業）

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト(※)
いぶり人材育成・産業活性化推進事業	胆振地域の経済やゼロカーボン北海道を支える人材の育成・確保とともに、就業環境整備や経営安定化へ向けた取組を実施。	⑤⑥
「ゼロカーボン北海道」実現のための胆振アクション－2025－	胆振独自の産学官のネットワークであるTEAM「ゼロカーボンいぶり」と協働した取組を展開し、オール胆振による「ゼロカーボン北海道」の実現を目指す。	⑤⑥
いぶり五大遺産等地域資源魅力発信事業	胆振地域への交流人口・関係人口の拡大を図るため、世界的な価値を有する「いぶり五大遺産」をはじめとした胆振管内の貴重な地域資源を関係団体等との連携により魅力発信するなど、地域創生に向けた取組を推進する。	①②③④⑤⑥
いぶり・食ブランド推進事業	胆振管内の食の魅力を向上させ、消費拡大を図るため、道内外に幅広く「胆振の食」の発信や商品開発支援を行う。	⑥
いぶり観光・教育旅行誘致促進事業	ウポポイをはじめとした「いぶり五大遺産」など、胆振の観光地や風景、食や歴史・文化といった魅力的な観光素材について、動画などのPRツールを活用した情報発信により、インバウンドを含む道内外の観光客や教育旅行の一層の誘致を図る。	①②③④⑥
いぶり暮らし・交流促進事業	若者世代をはじめとした移住・定住の促進や交流人口の拡大に向けて、若者世代をターゲットとした移住イベントや地域おこし協力隊の定住支援を行うとともに、修学旅行等を通じた学校間交流を推進する。	⑥
いぶり地域火山防災力向上事業	胆振管内は3つの常時観測火山を有し、噴火災害への警戒が欠かせない地域である一方、いずれの火山も貴重な地域資源となっており、火山との共生を継続するためにも各地域の火山防災対策を共有することで管内全体の火山防災力向上を図る。	⑥

※胆振地域が推進するプロジェクト

① 日本遺産「炭鉄港」を活かした交流人口拡大プロジェクト	② アイヌ文化等の地域資源を活かした日胆地域活性化プロジェクト
③ ジオパークの連携による関係人口等の創出・拡大プロジェクト	④ 縄文遺跡群などを活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト
⑤ 脱炭素社会を創造する「いぶり」産業展開プロジェクト	⑥ 住みたい・訪れたい「いぶり」地域づくりプロジェクト

R 7 年度における日高振興局の主な取組（地域政策推進事業）①

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト(※)
ナナイロひだか人材確保事業	人手不足の解消や人口減少への適応を図るため、職員の副業活動や移住・定住の促進、地元高校生の意見を政策に反映する機会の創出などの取組を通じ、管内外からの人材の確保・育成を推進する。	③④
日高アイヌ文化振興支援事業	アイヌ文化の魅力を広く発信することにより、「北海道・日高アイヌ文化」を軸とした交流人口と関係人口の増加を図るため、日高アイヌ文化シンボルマークの作成や各種PR活動に取り組む。	①⑤
日高の未来を担う中高生への 「じもと仕事」魅力度向上事業	日高の未来を担う中高生に管内の産業や企業の正しい情報や魅力を幅広く伝えるため、地元の産業を紹介する冊子を作成するとともに、若手社員参加による座談会を開催する。	④
Hidaka×Hotel (H2) プロジェクト (空き家等を活用した宿泊業参入 支援事業)	管内の課題である宿泊施設不足の解消のため、空き家等の活用や省人化・無人化のモデル事例を展開することにより、宿泊業への参入を支援する。	⑤
ドラマチックひだか魅力発信事業	道外及び訪日外国人の訪問意欲を高め交流人口の増加や地域経済の活性化を図るため、「国立公園」や「競走馬」、「アイヌ文化」等を活かしたプロモーションを実施する。	②⑤
ひだか「食」の競争力強化事業	日高管内の「食」の消費拡大を図るため、商品カルテ作成支援やグルメフェアの開催を通じ、食関連事業者と連携して日高産品の隠れた強みや良さを発見・PRし、販路拡大を推進する。	③⑤

※日高地域が推進するプロジェクト

① アイヌ文化等の地域資源を活かした日胆地域活性化プロジェクト	② ジオパークの連携による関係人口等の創出・拡大プロジェクト
③ 「ナナイロひだか」産業振興プロジェクト	④ 「ナナイロひだか」人材確保・育成プロジェクト
⑤ 「ナナイロひだか」魅力向上・発信プロジェクト	

R 7 年度における日高振興局の主な取組（地域政策推進事業）②

事業名	概 要	主な関連プロジェクト(※)
馬産地ひだか持続的発展事業	軽種馬生産の構造改革や軽種馬産業の従事者・獣医師等の確保、馬産地ひだかのPRや馬文化の普及、ホッカイドウ競馬の支援を通じて、持続可能な地域産業の振興を図る。	③④
新規就農者対策による産地基盤強化事業	日高が持つ「全国一の馬産地」「温暖少雪な気候風土」「港・空港に近い立地」といった強みを生かし、新規就農者の育成・確保及び定着に取り組み、地域の活性化を図る。	④
日高の豊かな海の幸フェス	管内水産物の消費拡大に繋げるため、日高の水産物を教育機関に提供するなど、若い世代に魚食の習慣を普及する取組を推進する。	③④
オールひだか魅力発信推進事業	新冠IC開通に向けた地域資源の活用促進や地域の魅力向上のため、国立公園誕生の好機を捉えて関係機関等と連携し、気運醸成や観光入込客数・交流人口の増加を図る。	②③⑤

※日高地域が推進するプロジェクト

① アイヌ文化等の地域資源を活かした日胆地域活性化プロジェクト	② ジオパークの連携による関係人口等の創出・拡大プロジェクト
③ 「ナナイロひだか」産業振興プロジェクト	④ 「ナナイロひだか」人材確保・育成プロジェクト
⑤ 「ナナイロひだか」魅力向上・発信プロジェクト	